

平成 25 年 11 月 1 日
東京二十三区清掃一部事務組合

今夏の清掃工場の電力対策取組み結果について

今夏の清掃工場の電力対策として、4つの取組み^{※1}により清掃工場からの電力供給（送電電力）を増量しました。また、同時に最大使用電力（受電電力）の抑制にも努めました。

これらの対策の取組み結果は下記のとおりです。なお、今後も当組合は電力需給の状況について注視し、的確な施設の運用を図っていきます。

記

1 電力供給（送電電力）の増量

- (1) 灰溶融炉 1 炉稼働による目標送電電力 60,000kW は、おおむね達成しました。なお、灰溶融炉 1 炉稼働による節電対策は現在も継続的に実施中です。
- (2) 灰溶融炉全停止及び集中焼却による目標送電電力 68,000kW は、おおむね近い値で推移しました。
- (3) 上記の取組みと焼却量の調整による目標送電電力 73,000kW は、7月 29 日（月）13 時に今夏の最大送電電力 74,000kW を記録し目標を達成することができました。

2 使用電力（受電電力）の抑制

送排風機の一部停止等による省エネ対策を実施し、期間中の受電電力抑制に取組みました。期間中の休日を除く 9 時から 20 時の最大受電電力は 25,300kW となり、平成 22 年度同期の最大受電電力 33,600 kW に比べ、25%減の抑制となりました。

3 平均電力（7～9 月）（図－1）

平成 22 年度同期に比べ、今夏の 3 カ月間の平均値は、発電では 2.2% 増、受電では 49%減、送電では 9.1%増、総使用電力では 15%減となりました。

※1 各取組み内容については 6 月 20 日 H P 掲載の記事をご参照ください。

<http://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/gijutsu/oshirase/denryoku.html>

(ホーム > 東京二十三区清掃一部事務組合について > 各課からのお知らせ > 電力需給逼迫に対する清掃工場の取組について)

問い合わせ先
施設管理部技術課
03-6238-0775

単位：千kW

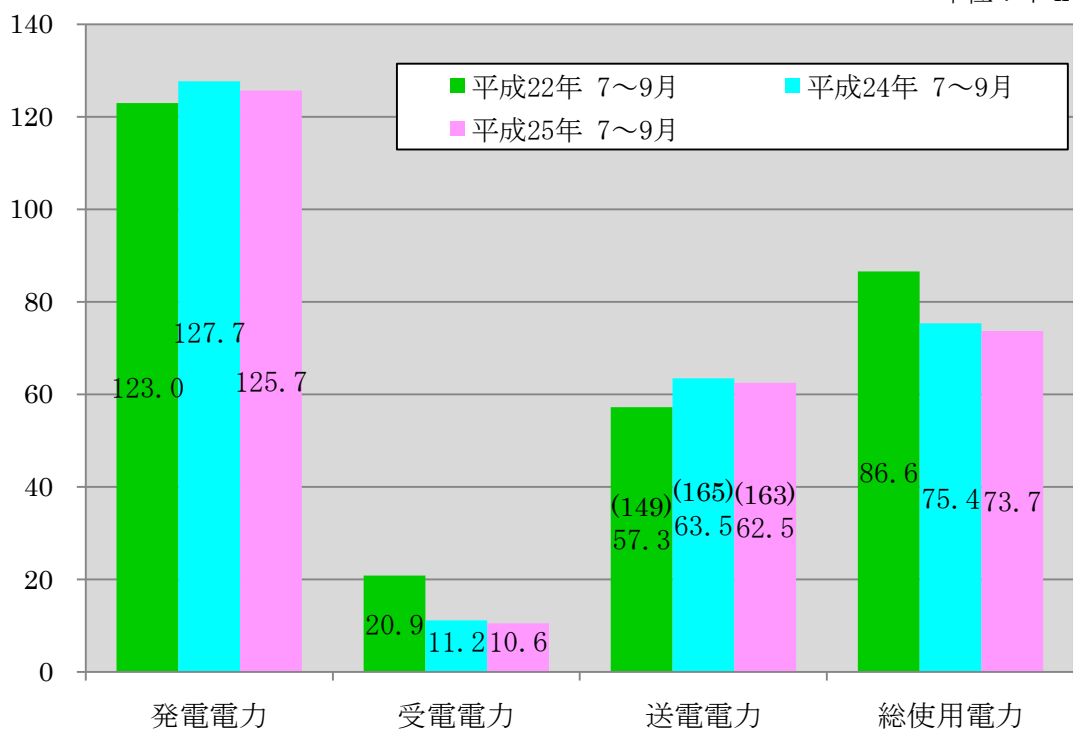


図-1 平均電力（7～9月）

※ 括弧内の数値は1世帯あたりの平均消費電力0.384kWにより換算した世帯数(単位：千世帯)を表します。(1世帯あたりの平均消費電力は平成25年度数表で見る東京電力 家庭の電力需要より算出)

※ 数値については速報値のため年報等と異なる場合があります。